

(Z-40)



支部だより

2000年度日本動物学会中部支部大会および公開講演会(文部省科研費研究成果公開促進費補助事業)が、8月3日(木)~4日(金)に三重県伊勢市「神宮会館」で開催されます。日程と内容は次の通りです。

8月3日:13時~16時 公開講演会,16時~18時半 一般ポスター発表 / 8月4日:9時~12時 シンポジウム / 期間中に「生物学教材バザール」を開催

・公開講演会「もっと知りたい身近な動物たち」:うそつきは虫の始まり(三重大・渡辺守)/三重県のカエルたち(元三重県博物館・富田靖男)/メダカを殖やそう(愛教大・岩松鷹司)/ヤドカリが先か、カニが先か(養殖研・小西光一)

・シンポジウム「貝の生物学」:鏡像体の進化を探る(信州大・浅見崇比呂)/貝殻との対話(元三重大・和田浩爾)/魚を利用する二枚貝-イシガイ類の特異な繁殖方法-(大教大・近藤高貴)/ウミウシの自信(千葉大・平野義明)

参加費は一般1000円,学生500円(公開講演会のみ)の参加は無料)です。ポスター発表では,中高校生による研究発表も大歓迎です。大会の詳細と申し込みは,動物学会の中部支部ホームページにあります(http://www.soc.nacsis.ac.jp/zsj/sibu/chubu/annai_008.html)。 [問合せ] 〒514-8507 津市上浜町1515 三重大学教育学部生物学教室 後藤太一郎 (Tel & Fax 059-231-9260, e-mail goto@edu.mie-u.ac.jp)

お知らせ

J.Exp.Zool. バックナンバーの寄付申出

東京都神経研が所蔵していた下記の洋雑誌が廃棄処分になりました。貴重な雑誌なので,引き取って下さる方を探しています。無料で差し上げます。

大学,研究施設など,複数の方が利用できる施設を希望しますが,個人で引き取りたいとお考えの方も対象と

します。

関心をお持ちの方は,至急,下記までご連絡下さい。

内容:Journal of Experimental Zoology Vol 100 (1945) から Vol 194 (1975) 数冊の欠本がありますが,ほぼ完全です。製本されたものが約120冊程度,並べると4.5メートルです。

[連絡先] 183-8526 東京都府中市武蔵台2-6 東京都神経科学総合研究所 発生形態研究部門 林しん治 Tel 042-325-3881 内線4507 Fax 042-321-8678 E-mail: shinji@tmin.ac.jp

募金のご協力に感謝します。

募金高 2,480,605円

1月分

青木 淳一	阿部 周一	荒木 正介	安藤 彰朗
石黒 誠一	石田 伸夫	井上 泰江	内山 孝司
大水 総一	小野 紀昭	小野 裕剛	柏木 昭彦
神谷 克巳	川崎 正貴	北島 健	窪川かおる
久保田幸彦	坂本 克彦	柴田 享	島田 公夫
鈴木 正将	泉水 奏	寺北 明久	中沢 英夫
永田 三郎	新野 由子	長谷川 和	半澤 直人
堀内 眞理	森田 弘道	道端 齋	柳生 亮三
山口 正晃	山崎 芳仁	山本 卓	渡辺 由雄

2月分

赤坂 甲治	稲葉 一男	大島 範子	景山 節
川口 四郎	喜多 弘	桜井 勝	佐々木哲彦
澤井 一郎	嶋田 拓	庄司 隆行	徳田 岳
原 黎子	松崎 真人	松田 良一	宮 隆史
三好 猛晴			

3月分

阿形 清和	石川 勝利	江口 清美	竹内 重夫
並河 洋	西野 敦雄	藤巻 秀和	三木 堆子
三谷 啓志	吉田 将之		

 会員異動

所属支部番号

1. 北海道, 2. 東北, 3. 関東, 4. 中部, 5. 近畿, 6. 中国・四国
7. 九州, 8. 海外

新入会 (4 / 10現在)

田中克彦 (3; 415-0025 静岡県下田市5-10-1 筑波大学下田臨海実験センター 筑波大学大学院生物科学研究科) / 上田泰史 (6; 753-8512 吉田1677-1 山口大学大学院理工学研究科自然情報科学専攻発生研究室) / 黒田裕樹 (3; 153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東大・総合・生命・浅島研) / 菅野靖彦 (3; 194-8511 町田市南大谷11 三菱化学生命科学研究所冬眠制御グループ) / 山田恵 (3; 216-8511 川崎市宮前区菅生2-16-1 聖マリアンナ医科大学生理学教室) / 茂木高志 (3; 192-0397 八王子市南大沢1-1 東京都立大学大学院理学研究科進化遺伝学研究室) / 齋藤由美 (5; 606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室) / Aslan, Laode M." (2; 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院理学研究科生物科学専攻) / 黒田 諭 (2; 990-8560 山形市小白川一丁目4番12号 山形大学大学院理工学研究科生物科学専攻生体機構大講座発生生物学品川研究室) / 松岡勝人 (3; 951-8510 新潟県新潟市旭町通1-757 新潟大学医学部第二解剖学講座)

住所・所属変更 (4 / 10現在)

濱 徳行 (6 1; 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻行動知能学講座) / 藍 浩之 (3 7; 814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1 福岡大学理学部地球圏科学科生物分野) / 花岡陽一 (3 3; 371 群馬県勢多郡富現村横室888-6 八木生物研究所作用解析分野) / 吉田徳之 (1 2; 060 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 東北大学大学院農学研究科資源生物科

学専攻動物生産科学講座動物生殖科学分野生物科学専攻生体情報分子学講座) / 久保田幸彦 (5 3; 560 つくば市高野台3-1-1 ライフサイエンス筑波研究センター実験動物開発室) / 鈴木季直 (3 3; 173 平塚市土屋2946 神奈川大学理学部応用生物科学科) / 櫻井 全 (3; 192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学理学部生物学教室 東京都立大学理学部生物学教室) / 大熊真人 (3; 470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地の98 藤田保健衛生大学医学部生理学2教室) / 藤本健吾 (6 3; 350-0283 坂戸市けやき台1-1 明海大学歯学部口腔生化学講座) / 清水洋平 (1; 041-1404 茅部郡鹿部町字本別539-112 北海道立栽培漁業総合センター) / 井口泰泉 (3 3; 236 岡崎市明大寺町西郷中38番地 基礎生物学研究所) / 上堂地美佳 (1 1; 078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学医学部医学科) / 前田龍郎 (1 3; 068-0835 八王子市南大沢1-1 東京都立大学理学部細胞遺伝学研究室) / 西川輝昭 (4 4; 464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館) / 小林健一 (3; 338-8570 川崎市多摩区長尾6-21-1 労働省産業医学総合研究所) / 岡田龍一 (4; 444-8585 岡崎市明大寺町西郷中38 岡崎国立共同研究機構・基礎生物学研究所・細胞増殖) / 鈴木喜郎 (3; 228-8555 相模原市北里1-15-1 北里大学医学部生理学教室河原克雅研究室) / 徳楽清孝 (7; 885-8567 宮崎県都城市吉尾町473-1 都城工業高等専門学校・物質工学科) / 阿部秀樹 (3; 113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科機能協同システム医学分野)

逝去

森脇大五郎名誉会員が逝去されました。ここに謹んで深く哀悼の意を表します。

安増郁男会員が逝去されました。ここに謹んで深く哀悼の意を表します。

(社)日本動物学会関東支部ニュース<http://www.soc.nacsis.ac.jp/zsj/sibu/kantou/kantou.html>

2000年6月 83

平成12年度第2回関東支部委員会報告

日と場所:平成12年3月17日 東京大学理学部

出席者:大島(支部長),泉,小林,兵藤(各支部委員),守(評議員)

議事:(詳細はホームページをご覧ください)

1.第52回関東支部大会(3月30日,都立大学)の準備状況が報告された(高校生による発表の場が新たに設けられた)。

2.支部総会議事次第案が承認された。

3.第53回関東支部大会は2001年3月30日に東邦大学習志野キャンパス(大会委員長:藤井良三会員)で開催される予定。

4.次期の評議員・支部委員の選挙と代議員の選挙は別々に行うことが報告された。

5.次期評議員・支部委員の選挙は,これまでと同様な方法で行うことを確認した。一方,代議員選挙は,その具体的方法について今後本部と協議していくこととし,必要な作業は選挙管理委員会が管理していくことが確認された。

日本動物学会関東支部総会議事録

日と場所:2000年3月30日都立大学国際交流会館

議長:八杉貞雄会員(都立大学)

議事:(詳細はホームページをご覧ください)

1.第52回支部大会委員長挨拶(桑澤)

2.支部長挨拶(大島)

3.庶務報告(小林):(1)会員数:一般会員727人,学生会員166人,中高教員会員34人,高齢会員34人,名誉会員2人の合計963人(3月27日現在;2年以上の会費滞納者は含まず)。(2)1999年の企画活動:共催シンポジウム「日本の理科教育が危ない・パート3」(1月9日,東京大学),主催ワークショップ「生き物は動く」(7月24日,東京大学)(3)2000年の予定:シンポジウム(7月,主催),支部選出の評議員と支部委員の選挙,代議員の選挙。

4.会計報告と審議(決算案と予算案は“ひろば”3月号およびHP参照):(1)1999年決算案(兵藤)と会計監査報告(石委員の代理 小林):原案通りに承認された。(2)2000年予算案(蟻川):原案通りに承認された。

5.広報報告(岡):ホームページおよび電子版生物学ニュースの紹介と,生物学ニュースの受取方法(電子版あるいは冊子体)未登録の会員に対する登録の依頼

がなされた。

6.企画報告(菅原):主催シンポジウム「海の動物学」を7月29日に(13時より,東京大学山上会館)開催。1.「進化は海から」濱田(放送大),2.「海底1万メートルの世界」太田(東大),3.「磯の不思議な動物たち」青木(筑波大),4.「サンゴ礁の宝石」大島(東邦大),5.「クジラたちの生きかた」吉岡(三重大)。

7.支部規定改定案の審議(小林):支部規定改定案(“ひろば”3月号およびHP参照)が承認された。

8.選挙管理委員の選出および選挙について:(1)選挙管理委員候補者の推薦(小林):選挙管理委員候補者(“ひろば”3月号およびHP参照)が承認された。(2)選挙について(豊島選挙管理委員長):詳細は“ひろば”6月号およびHPに掲載される予定。

9.第53回支部大会長挨拶(藤井):次回大会は2001年3月30日に東邦大学習志野キャンパスにて開催される。

10.閉会の辞:八杉議長

第52回動物学会関東支部大会を終えて

大会委員長 桑澤 清明

(東京都立大学大学院理学研究科)

2000年の今年3月30日,東京都立大学国際交流会館および理学研究科棟において第52回関東支部大会が開催された。この日は桜の花は間に合わなかったものの,穏やかな天候に恵まれた多摩丘陵の春の一日であった。思い返せば1985年に都立大旧目黒校舎で第37回大会が開かれ,都立大では秋野美樹(大会委員長),団勝磨,岡崎嘉代,大羽慈先生の在りし日が偲ばれた関東支部大会であった。支部大会懇親会が定番となったのは15年前のその大会からである。今大会参加者は,一般83名,学生62名,高校生とその引率の先生15名,それにシンポジウムの演者2名と,懇親会のみにご参加頂いた方を含めて,全部で168名であった。懇親会では60名を超える方々が親睦を深めた。大会は上首尾であったと関係者一同自賛しているが,これもシンポジウムの演者,宮原哲仁先生(都立大附属)始め高校の先生方,支部長,支部委員,ならびにご参加頂いた皆様のご協力の賜とお礼申し上げる次第である。

実行委員長 八杉 貞雄

(東京都立大学大学院理学研究科)

今回の支部大会では,一般演題はすべてポスター発表とし,42題の申込があった。また支部大会初の試みとし

て高校生の参加を呼びかけたところ3題があった。さらに、都立大学の生物教室の研究と施設を少しでも支部会員の方に知っていただくこと、オープンラボの時間を設け、ガイド付きで、ショウジョウバエ飼育施設、水生動物飼育施設、ならびに牧野標本館をご案内した。当初、どれほどの方がこのツアーに参加して下さるか危惧したが、10時の開始と同時に多くの方がお見えになり、案内の係りがてんでこまいたほどであった。なかには、オープンラボを楽しみにきました、とおっしゃる参加者もいた。実行委員会では、シンポジウム「動物行動学の最前線 - 解きあかさされつつある行動本能 -」を開催した。演者と演題は、都立大学・布山喜章氏「ショウジョウバエの精液による雌の操作」、早稲田大学・山元大輔氏「同性間求愛を引き起こすキイロショウジョウバエの突然変異体 *satori* の研究」、筑波大学・神崎亮平氏「微小脳による行動発現機構の分析と統合」、東京工業大学・石野史敏氏「哺乳類のゲノムインプリンティングと母性保育行動」であった。国際交流会館の広い会場が最後まで満員であったことは、演者の先生方の熱のこもったご発表と、現在の動物学におけるこの分野の急速な進展に対する多くの方の関心の故であったと思われる。

このように、今回の支部大会では高校生の参加や学内のご案内などの新機軸を試みた。一つ一つは小さいことであっても、それが動物学の発展に少しでもつながれば、企画した準備委員会としてはこれに過ぎる喜びはない。

選挙について（選挙管理委員会）

本年度は評議員と支部委員の選挙の年に当たります。現在選挙管理委員が準備を進めています。投票は7月の予定です。

支部委員については、その構成を多様化するための一助として、支部規定細則に従い、選挙に先立って関東支部会員（以下会員）から立候補（自薦）と候補者の推薦（他薦）を受け付け、そのリストを投票用紙とともに全会員に配布して投票の際の参考にしていただいております。手続きおよび注意事項は下記の通りです。

管理一切は選挙管理委員会が責任を負います。

配布するリストはあくまで参考で、リストの会員を含むすべての会員に投票できます。

各会員は、立候補するか、または推薦を受けることができます。ただし次の6人の方々は連続三選禁止条項（支部規定第5条）に該当しますので、今回は被選挙権がありません。

石井直方、大島範子、窪川かおる、兵藤晋、山岸宏（筑波大・生物科学）、山本和俊

推薦の場合は、あらかじめ被推薦者本人の同意を得て、推薦人3名（2名以下、4名以上は不可）が連名で1名

のみを推薦できます。

推薦者となるのは1回のみです。すなわち、同じ人が2人以上の推薦人となることはできません。被推薦者および立候補者が他の人の推薦人となることはできません。

立候補および推薦に当たっては、次の形式で書類を作成し、下記の定められた期間内に選挙管理委員会に届け出て下さい。届け出は、郵送、Fax、E-mail いずれでも結構です。

1) 立候補の場合は、「立候補」と記して本人氏名と所属、連絡先と電話番号（Fax、E-mail アドレスがあればそれも）を記入する。

2) 推薦の場合は、「推薦」と記して被推薦者名および推薦人3名の氏名と所属を連記する。また、推薦人のうち代表者1名の連絡先と電話番号（Fax、E-mail アドレスがあればそれも）を記入する。

選挙管理委員会が、立候補および推薦の届けを到着順に整理し、立候補者と被推薦者に確認を行った上で、その氏名・所属（推薦人も記載）を投票用紙送付の際に同封して公表します。ただし、～ の条件を満たしていない場合は除外し、届け出の後の取り消しと変更は一切認めないことにします。

立候補および推薦を届け出たあとで1週間が経過しても連絡がない場合は、下記の選挙管理委員にお問い合わせ下さい。

不明の点は、下記選挙管理委員会または関東支部支部長（大島範子 〒274-8510 船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部生物分子科学科 Tel: 047-472-7512 E-mail: oshima@biomol.sci.toho-u.ac.jp）までお問い合わせ下さい。

受付期間：2000年6月1日(木)～6月20日(火)

届け出の宛先および問い合わせ先：

〒153-8902 目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院・総合文化研究科・広域科学専攻・生命環境科学系

(社)日本動物学会関東支部 選挙管理委員会

豊島陽子

Tel: 03-5454-6752 Fax: 03-5454-6722

E-mail: cyytoyo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

選挙管理委員長：豊島陽子

（東大院・総合文化・生命環境）

選挙管理委員：赤染康久（東大院・理）

岩室祥一（東邦大・理）

成瀬 清（東大院・理）

(K-6)

平成12年度基礎生物学研究所大学院説明会

平成12年度総合研究大学院大学・生命科学研究所・
分子生物機構論専攻・博士後期課程・基礎生物学研究所
大学院説明会が開催されます。

日 時：平成12年7月1日(土) 13:00~17:30

場 所：基礎生物学研究所(愛知県岡崎市)

ガイダンス, 研究室紹介(研究内容紹介の講演), フリー
トーク, 懇親会が行われます。

西村 幹夫：植物オルガネラのダイナミクス

大隅 良典：細胞内分解系 - オートファジーの分子機
構 -

長濱 嘉孝：性分化・配偶子形成とホルモン

諸橋憲一郎：生殖腺と脳における性分化機構の解明

上野 直人：形態形成の分子メカニズムを探る

野田 昌晴：脳神経系の形成と機能の分子メカニズム

飯田 滋：植物のトランスポゾンと形質発現の制御

堀内 嵩：ゲノム増幅の分子機構とその意味

山森 哲雄：学習行動と大脳皮質領野特異性形成の機構

長谷部光泰：生物の系統・発生進化の分子機構・共生進
化

※ひろば※

井口 泰泉：発生・生殖・性分化とホルモン関連物質

小川 和男：生体分子モーターの多様性と同一性

〔対象〕 修士課程在籍者, 企業在籍者及び10月入試希望
の方を対象としています。

〔参加申込〕 氏名・住所・所属・連絡先及び説明会参加
希望であることを書いて下記宛に葉書で6月20日までに
申し込んで下さい。当研究機構の宿泊施設の利用を希望
される方は, その旨をご記入下さい(宿泊費1泊1500円
程度)。宿泊希望者が多数の場合は, 遠隔地の方を優先
します。宿泊の可否, 説明会の詳細は追って連絡致しま
す。

〔参加申込先〕

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38

岡崎国立共同研究機構

研究協力課研究協力係

Tel. 0564-55-7134, 7139

最新の情報, 詳細については, Web page (<http://www.nibb.ac.jp>) をご覧下さい。